

# 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2024年報告書

学校名・施設名等 奥出雲町立 阿井小学校

担当者名 秋田 幸彦

対象河川名 阿井川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

## 取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 3・4年生 〔参加者数〕 春調査 20人

2024.6.17 (月) (天気) くもり 〈気温〉 25℃ 〈水温〉 20℃

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ7 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の生物〉サワガニ1、ナガレトビケラ類2、ヘビトンボ3、ヨコエビ1、コオニヤンマ1、カワニナ類1、コガタシマナガレトビケラ1、タニガワカゲロウ4、ヒゲナガカワトビケラ9、コカゲロウ類11

〈水辺の様子〉川幅およそ10~15m。西側の土手には大人の腰の高さほどの草が生えており、田んぼが広がっている。

東側は木が生い茂っており、林のようにになっている。

川は深いところで1mほどだが、浅いところが多く、小石が広がっている。

梅雨前で雨が少ないため、水かさはやや少なめであった。



## 子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

〈児童より〉・阿井川はきれいな川で、水生生物がたくさんいるのが分かりました。COD検査も面白くて、こんな方法で水生生物を見分けることができるのだなと思いました。水生生物を見分けるのは、あまりやったことのない活動だったので楽しかったです。

・川にはたくさんの水生生物がいることが分かりました。水生生物はなぜ小さい生き物ばかりなのだろうと疑問に思いました。これからもルールを守って、川をよりきれいな水にしていきたいと思います。

〈教員より〉児童は楽しみながら生物を採取したり、分類したりしながら川の環境を調べました。阿井川がきれいな川であろうことは予想していましたが、生き物を調査することで、阿井川がきれいな川であることに確信をもつことができました。実際に身近な川の環境を調査することで、川にたくさんの生き物がいることや環境を守ってきた地域の人々がいることなどたくさんの気づきがあったと思います。